

## 2018年度補正予算概要の説明

当初予算編成後に生じた入学者数・卒業者数の確定に伴う学生生徒等納付金収入の変更等の収入額の補正、及び、当初予算確定後に新たに計画された事業予算の計上、さらに、事業内容の見直し等に伴う支出額の補正を盛り込んだ補正予算（案）の概要を説明します。なお、金額の表記は百万円単位とし、10万円台を四捨五入します。

### ◎当初予算確定後の主な新規事業

#### ①大正大学・島根大学・静岡産業大学による地域人材育成プロジェクト

内閣府の「地方と東京圏の大学生対流促進事業」に採択されました。各大学の知的資源を活用し、地方地域の現状や課題の発見、問題解決を構想する教育活動を通じて、本学学生が地域の魅力を認識し、地域志向に向かわせ、卒業後の人材還流の実現を目指すプロジェクトです。

総事業費 41 百万円に対し、内閣府から 36 百万円の補助金を得て実施します。

#### ②学生フリースペース確保にかかる施設設備改修事業

8号館改修に伴い、学生の自主学習や昼食をとる場所の確保が必要になったため、以下の如く施設設備の改修を行いました。

- ・ 2号館 1階の入試課作業室を改修
- ・ 5号館 2階エレベーターホール脇に机・椅子の設置
- ・ 5号館 8階鴨台食堂にカフェカウンター設置
- ・ 7号館 2階の教育開発推進センターを改修

#### ③地域実習Ⅱ開催に伴う設備補充事業

2018年度地域実習Ⅱ「どさっと佐渡」のイベントとして、佐渡市を拠点に活動する太鼓芸能集団「鼓童」による巢鴨地区の太鼓団体「鼓友」とのコラボレーションや地元住民への太鼓指導を行うにあたり桶太鼓を購入しました。今後、本学に創設する太鼓クラブで桶太鼓を使った練習を行い、太鼓を通じた日本伝統芸能への理解を深め、「鼓友」とのコラボレーションや「鼓童」とのセッションを行うことを想定しています。

なお、桶太鼓の購入は㈱ティー・マップから支援を受けて行いました。

### ◎2018年度単年度の収支見込み（事業活動収支予算書に基づき報告）

収入面では、内閣府補助金の獲得や資産売却差額などの増収予測と、学生生徒等納付金や寄付金などの減収予測を相殺した結果、当初予算比 4 百万円の収入増の見込みです。支出面では、事業計画の見直しなどによる支出抑制効果により、当初予算比 33 百万円の支出減の見込みです。

以上の結果、2018年度の収支予測（基本金組入前当年度収支差額）は、187 百万円の収入超過見込みです（当初予算比 37 百万円の収入増）。

### ◎補正予算（案）の主な収入、支出の変動について（資金収支予算書に基づき報告）

#### 1. 資金収入の部

- 1) 学生生徒等納付金収入 5,232 百万円。当初予算比 25 百万円減。

2018年度新生生の歩留まりが当初予算時予測より低かったことによる授業料や施設設備費などの収入減を反映し、学生生徒等納付金は減額補正しました。

- 2) 手数料収入 177 百万円。当初予算比 4 百万円減。

入学検定料について、AO 入試、推薦入試の状況を鑑み 5 百万円減額補正しました。

- 3) 寄付金収入 350 百万円。当初予算比 20 百万円減。  
上半期の教育・学生生活支援資金及び地方人財育成基金の納入状況が当初予算時予測より低かったため減額補正しました。
- 4) 補助金収入 538 百万円。当初予算比 26 百万円増。  
内閣府の「地方と東京圏の大学生対流促進事業」補助金 36 百万円を踏まえて増額補正しました。
- 5) 資産売却収入 618 百万。  
より高い配当金収入獲得のために運用商品の見直しを行いました。
- 6) 付随事業・収益事業収入 29 百万円。当初予算比 2 百万円増。  
受託事業研究の新規契約 4 件獲得したことにより増額補正しました。
- 7) 受取利息・配当金収入 131 百万円。当初予算比 4 百万円増。  
運用商品見直しに伴う配当金収入増を踏まえて増額補正しました。
- 8) 雑収入 94 百万円。当初予算比 3 百万円増。  
職員退職者増（1 名→4 名）により退職金財団交付金が 4 百万円増となったことを踏まえて増額補正しました。
- 9) 前受金収入 1,225 百万円。当初予算比 75 百万円減。  
2019 年度新入生の授業料等について、前年度の確定額を鑑み減額補正しました。
- 10) その他の収入 998 百万円。当初予算比 615 百万円増。  
資産売却した引当金の再運用実施に伴う振替処理を踏まえて増額補正しました。
- 11) 資金収入調整勘定▲1,343 百万円。77 百万円増。  
2018 年度新入生の授業料等確定により前期末前受金を補正しました。

## 2. 資金支出の部

- 1) 人件費支出 3,191 百万円。当初予算比 42 百万円減。  
教員人件費、職員人件費ともに上半期の執行実績を鑑み減額補正しました。一方、退職金は職員退職者 3 名増に伴い 5 百万円の増額補正です。
- 2) 教育研究経費 1,669 百万円。当初予算比 32 百万円減。
  - 当初予算比で増額が 500 万円以上となった科目と主な理由は以下の通りです。
    - ◎消耗品費支出 6 百万円増
      - ・学生対流促進事業にかかる機器購入 4 百万円増
    - ◎修繕費支出 12 百万円増
      - ①2 号館消化ポンプ、13 号館冷温水熱源機修繕 8 百万円増
      - ②台風 14 号に伴う学内施設修繕 2 百万円増
    - ◎学生諸費支出 5 百万円増
      - ・卒業記念品購入方法変更 4 百万円増
  - 当初予算比で減額が 500 万円以上となった科目と主な理由は以下の通りです。
    - ◎光熱水費支出 8 百万円減
      - ・上半期の電気使用量が節電効果により想定以下であったため 6 百万円減

◎研究費支出 7 百万円減

- ・学内学術研究助成金確定により 4 百万円減

◎委託費支出 44 百万円減

- ・ネットワーク機器入替にあたり、3 社の見積りあわせの成果として支出額を 16 百万円削減できたこと、及び、支出科目を教育研究用機器備品支出に 24 百万円振替したことによります。

3) 管理経費支出 518 百万円。当初予算比 38 百万円増。

●新規に支出を計上したもの

◎私立大学等経常費補助金返還金支出 3 百万

2017 年度研究施設運営支援補助金に申請した件について、収支が予測以上に収入超過であったため返還が生じました。

●当初予算比で増額が 500 万円以上となった科目と主な理由は以下の通りです。

◎委託費支出 38 百万円増

- ①学生食堂運営支援見直しにより 15 百万円増
- ②社会共生学部ニーズ調査実施により 4 百万円増
- ③寄付金募集の印刷物制作により 4 百万円増

4) 施設関係支出 1,508 百万円。当初予算比 102 百万円増。

主な増額理由は以下の通りです。

- ①5 号館 8 階鴨台食堂カフェカウンター設置 12 百万円増
- ②解体見積確定により 84 百万円増

5) 設備関係支出 131 百万円。当初予算比 34 百万円増。

主な増額理由は以下の通りです。

- ①ネットワーク機器の入替について、教) 委託費から科目振替したことにより 24 百万円増
- ②桶太鼓購入 5 百万円増

6) 資産運用支出 1,436 百万円。当初予算比 1,251 百万円増。

資産売却した引当金の再運用実施に伴う振替処理を踏まえて増額補正しました。

7) その他の支出 377 百万円。当初予算比 57 百万円増。

前期末未払金支払支出確定により増額補正しました。

8) 資金支出調整勘定▲310 百万円。当初予算比 10 百万円増。

前期末前払金が確定したため支出減の補正を行いました。

◎補正予算（案）を反映した主な財務比率について（事業活動収支予算書に基づき報告）

主な財務比率を表記します。（ ）は全国平均（2017 年度版「今日の私学財政」5 ヶ年連続財務比率表（医歯系大学を除く）－大学部門－）の 2016 年度決算ベースの比率です。

学生生徒等納付金比率	80.0% (81.4%)
人件費比率	49.0% (50.4%)
教育研究経費比率	35.3% (35.0%)
管理経費比率	9.0% ( 7.5%)

以 上